

宅地造成地に有害物質

神戸・北区 ヒ素など基準の2倍

神戸市北区山田町小部の宅地造成地から環境基準を上回るヒ素やフッ素が検出され、環境省指定の土壤検査会社(大阪府)が「有害物質が河川に流れ込む恐れがある」などと指摘していることが27日、分かった。製鉄過程で生じる副産物「鉄鋼スラグ」などが埋められており、神戸市は近く造成地の開発業者に対し、原因究明の追加調査と被害防止を求める指導をする方針。

造成地は約5500平方メートル。付近には福祉施設や学校などが点在し、北側には住宅街が広がる。谷地だったのを市内の開発会社が2008年4月末に買い取り、宅地販売するために埋め立てた。

開発会社によると、市内の土木業者が工事を発注したところ、無断で土を掘り起こされた上、鉄鋼スラグや建設残土を埋められたと、10年8月、土壤検査会社に調査を依頼、結果を市に報告した。検査会社の分析では、土中の鉄鋼スラグは推定約2700立方メートル。スラグと土砂の混ざった部分には排出元が分からないという。鉄鋼会社の子会社によると、土木業者に渡った

鉄鋼スラグ 鉄をはがねにするなど製鉄過程で発生する副産物。リサイクル材として道路や造成地の地盤強化などに使われるが、適切な処理がされていない場合、粉じんが舞いやすく、雨で高アルカリ水が出るなどのリスクもある。鉄鋼各社は販売時の使用マニュアルを定めている。過去には、三重県の工業用地

他地域でも問題に

で、池から浸出した水に反応した地中の鉄鋼スラグから環境基準を上回るフッ素が検出されている。また、兵庫県や愛知県が、野積みが続けた取扱業者に対し、廃棄物処理法に基づく改善指導や命令を出している。鉄鋼スラグ協会(本部・東京)によると、全国の年間発生量は昨年度で約4千万トン。うち廃棄物処分はわずか1%という。最近では水質浄化に活用する研究も進んでいる。

開発業者を市が指導へ 河川流出の恐れ指摘も



鉄鋼スラグはリサイクル資材として販売したもので、水に触れるとアルカリ成分が出やすいため、覆土などの流出対策をすべく求めたという。担当者は「宅地造成地に使われたとは知らなかったが、現地を見た限り

環境基準を上回るヒ素やフッ素が検出された宅地造成地＝神戸市北区山田町小部

現場近くの住宅街に住む男性(86)は「皆さんの管理をされては困る。周辺の環境に影響が出ないよう、きっちりとした対策を取ってもらいたい」と話した。

覆土もされており、適切に使われたと認識している。わが社分は安全性も検査しており、汚染の原因になるとは考えにくい。さらなる調査を求めたい」と説明。土木業者は取材に「地盤を固めるために買い取り、よかれと思い埋めた」と話している。

淫行容疑の府警巡査
メール消去
少女に指し示
神戸市内の高校2年の女子生徒(16)にみだらな行為をしたとして、大阪府警柏原署の巡査、鶴岡

ワコムラハム
辰弥容疑者(24)が、兵庫の県警に県青少年愛護条例違反容疑で逮捕された事

覚せい剤を密売突

兵庫県警 大阪の男を
営利目的で覚せい剤の密売を繰り返したとして、兵庫県警薬物銃器対策課と西宮署などが、覚せい剤取締法違反(営利目的譲渡など)の疑いで、大阪市旭区、無職渡辺昌春容疑者(37)を逮捕、神戸地検尼崎支部が起訴していたことが27日、捜査関係者への取材で分かった。

同支部は同日、渡辺被告が、覚せい剤の密売で生計を立てていたと判断し、より刑罰の重い麻薬特例法違反罪(業としての譲渡など)への訴因変更を神戸地裁尼崎支部に請求した。

神戸・三宮 「ハーブ男が車
安全義務違反
27日午後3時半ごろ、神戸市中央区北長狭通1で、軽乗用車が信号待ちをしていたトラックに追突、続いて後方の乗用車にも衝突した。生田署は軽乗用車を運転していた同市内の飲食店店員の男